

廃却、處分

0759

手本

供覧

軍務局

艦政局

横須賀鎮第三一九號

大正七年二月九日

横須賀鎮守府司令長官 名和又八郎

海軍大臣加藤友三郎殿

第二課

第一課小牧

第四課

第一課小牧

艦政局

横須賀鎮守府海軍港務部係官左記雑役船八  
船体一般腐蝕甚敷修理再行用、價値  
十半三付、廢船ト致候  
右報告ス

驅逐艦朧帆布艇

二〇天に馬船の帆布

終

運送済

同村

0760

海軍

軍務局

艦政局

軍務局接収  
及投付  
三月十日

海 7.2.15

軍 二月十日

政 7.2.18

供覽

軍務局

郵政局

撥領第四〇四號

大正七年二月二十一日

海軍大臣加藤友三郎殿

横須賀鎮守府司令長官 名和又八郎

第二課

廢船ノ件

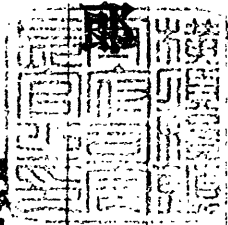
横須賀海軍港務部保管左記雜役船ハ  
別紙検査書ノ通り各部腐蝕老朽甚シ  
ク修理再用ノ價値十千ニ付廢船ト致候  
右報告ス

第二課公稱第七四號傳馬船

第四課

七年二月二十一日

第三課



7月五日 原博濟

0761

223



大正七年二月二十日起案

起案者 捺印

利新

二月廿六日發付

發付掛 捺印

小次

發付後起 捺印

利新

7.2.20

關報

(主務)軍務局長

利新

第二課長小次

美口

大臣

副官

馬員

次官

參事官

利新

利新

艦政局長

利新

第二課長

利新

經理局長

第一課長

利新

第二課長

利新

大正七年二月二十六日大臣

横鎮第三〇七號公稱第三九六號汽艇廢設

處分一件認許ス

(終)

號番

官房第五一九號三

承

宣

軍令	水路	臨建	教育	造兵	技本	法務	經理	醫務	機關	艦政	人事	軍務	官房	局部

0763



軍務局

艦政局

號第三〇七號

大正七年 二月九日

橫須賀鎮守府司令長官 名和又八郎

海軍大臣 加藤友三郎 殿

第二課小室

本館...  
海軍大臣加藤友三郎殿  
二月十日

汽艇廢船處分ノ件  
橫須賀海軍港務部保管在記汽艇船體  
機關何レモ腐蝕考朽甚シク修理ノ價値  
ナキ程度ニアルヲ以テ此際廢船処分致  
度候條御認許相成度  
右申上

公称第三九六號汽艇

官房第 五一五號

終

0765

起案日

副官 部 部 港務 司令長

大正七年二月十九日

横須賀鎮守府副



少中省新多又  
 官房等五七部三申林之  
 検査済之送付進平表上申  
 在收款入  
 軍務局

第二課



三月廿日

軍務局接受

系記

0766  
0767





正  
 大正七年一月三十日  
 横須賀海軍工廠  
 検査部

現 状 摘 要

船 殼	機 械 及 装 品	機 械	備 考
腐蝕甚敷修理ノ價値ナキト認ム	右金		<p>何レモ腐蝕甚敷修理ノ價値ナキト認ム</p> <p>横須賀海軍工廠 船 匠 師 田</p> <p>大正七年一月三十日</p>

第 三 号 船 匠 師 田

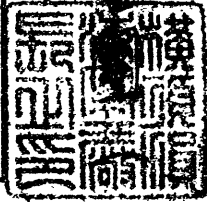
横須賀海軍工廠 第三号 船 匠 師 田

大正七年一月三十日

公 種 第 三 九 六 號 汽 艇 檢 査 報 告

横須賀海軍工廠長代理

海軍少将 南 里



司令長官

参謀長

副官

大正七年二月一日

0766  
0767

一、現状調査報告ニハ、船隻調査部ノ現状ヲ記載シ必要ト認ムルモノハ、機運試験ノ成績ヲ添付スヘシ

- 二、所見欄ニハ本船艇ノ處分ニ關スル所見ヲ記載シ尙參考トシテ左ノ事項ヲ附記スヘシ
- (1) 尙使用セントセル之ニ要スル修理費及修理後ノ使用見込年月
  - (2) 他種ノ雜役船トシテ利用方途ノ有無若シ有ツトセハ之カ改造ニ要スル工事方案及豫算

0768

海軍省副官



海



三十四番  
軍務局

軍務局長

第二課長 技 馬員

大正七年二月

月十一日起  
月十五日發付済

海軍省副官

横鎮 副官宛

汽艇廢船處分ノ件

公稱第三九六號汽艇廢船處分ノ件ニ關

シ横鎮第三〇七號ヲ以テ貴府司令長官ヨ

リ上申相成候處右ニ要スル雜役船及除

籍艦船取扱規則第六條ニ依ル標式(丙)ノ檢

査證添付波ニ付至急提出方御取計ヲ得度

右申進ス (終)

官房第五一五號

(明正印刷)

0769 (件)

手帳

供覽濟

軍務局

艦政

軍務局

佐鎮第一四號

大正七年三月十八日

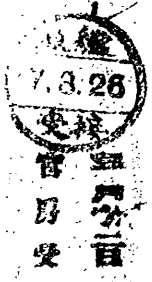
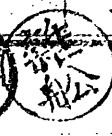
佐世保鎮守府司令長官 加藤友三郎殿

第二課 艦政

佐世保海軍港務部所屬公稱第三九號運賃  
船艇外腐朽甚敷修理ニ加フルノ増値ナキ事  
二月三日還納船身ニ編入上座船トス

右報告ス

第二課  
第四課  
第五課



海軍

0770

大正七年三月十四日起案

起案者 村瀬

三月廿一日發付

發付掛 村瀬

發付掛 小松

發付掛 小松

發付掛 小松

發付掛 小松

發付掛 小松

(主務)軍務局長

村瀬

第二課長小松

大臣

副官

次官

參事官

村瀬

第二課長

艦政局長

中野

第三課長

第四課長

第五課長

技術本部長

村瀬

第四部

第五部

大正七年三月十四日大

二月廿一日附横鎮第四。五號栗橋九搭載汽  
艇廢船處分ノ件認許ス

軍令	水路	臨建	教育	造兵	造本	法務	經理	醫務	艦政	機關	人事	軍務	官房	局部
							七五九							受月日發月日
														三月廿一日
														三月廿一日

號番

官房第六三號

毎

頁

終

3.20

0771

7.3.16

7.3.15



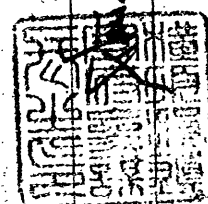
海軍

第五〇三號二

大正七年三月八日

堀内横須賀鎮守府系謀

井出海軍省軍務局長殿



軍務局長

第二課長小牧

局長

栗橋丸搭載汽艇二件

軍第六九號徳照會ノ栗橋丸汽艇代船

ハ必要ニ付従前ノ通機動艇搭載方徳取

計相成度

右回答ス

左ノ汽艇ハ小型ニシテ重量大ナル使用不適者ナリシヲ以テ代船ニ付ス  
發知能トナシテ必要ニ付申シテ可也

終

軍第六九號 一二

0773

雜記

軍務局長受  
三月九日

軍第六九號

郵政局長

濟

第二課 第三課 第四課 第五課

7.27 7.28 7.26

軍務局長

出

第二課長小牧

員

員

員

大正七年

三月五日 發行

軍務局長

橫濱先謀長宛

常務九搭載汽艇一件

二月二十一日所横濱第四五編ヲ以テ常務九搭載汽艇發航處トシテ貴府長官ヨリ上申相候處右發航處トシテ常務九搭載汽艇代船ノ要否ニ御回報相成度

右照會

終

(明五印)



軍務局

艦政局

横須第 四〇五號

大正七年二月十五日

横須賀鎮守府司令長官

名和又八郎

海軍大臣加藤友三郎殿

第二課

汽艇廢船處分ノ件

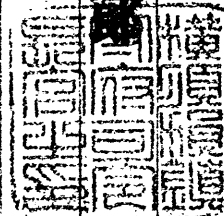
横須賀海軍港務部保管左記汽艇ハ別  
紙檢査書ノ通り船体腐蝕甚ク其用ヲ  
為ササル程度ニ至ルヲ以テ此ノ際廢船處分  
致度候條御認許相成度  
右申入

栗橋丸搭載汽艇

官房第六三號

終

右記汽艇ハ用ノ有ラズ  
トモモ之ヲ



0775

司令長官

部長代

副官

現 状 概 要

船	機 械 装 品 及	機 械	罐	補 機
機 関 廉 價 再 用 價 値 下 認 ム	右 全	給 水 師 筒 其 他 之 修 理 之 要 ス	缶 燃 室 其 他 之 修 理 之 要 ス	/

様 更 新 修 理 費 三 一 〇 四 之 要 ス  
 様 更 新 現 状 今 後 若 干 使 用 得 入 キ 餘 地 ア ル モ 服 務 全 ク 廉 價 再 用 之  
 石 井 九 郎 氏 以 下 之 修 理 處 分 至 重 要 下 認 ム  
 第 九 號

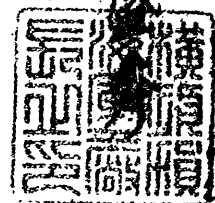
第一一四三  
 栗 橋 丸 格 載 汽 艇 檢 査 報 告

横 須 賀 海 軍 工 廠 長  
 田 中 誠

謀 長

副 官

中



昭和七年二月十六日

0776

一、現状摘要欄ニハ一般及諸要部ノ現状ヲ記載シ必要ト認ムルトキハ普通試験ノ成績ヲ添付スヘシ

二、所見欄ニハ本船艇ノ處分ニ關スル所見ヲ記載シ尙參考トシテ左ノ事項ヲ附記スヘシ

(1) 尙使用セントセル之ニ要スル修理費及修理後ノ使用見込年月

(2) 他種ノ雜役船トシテ利用方途ノ有無若シ有リトセハ之カ改造ニ要スル工事方案及豫算

0777

供覽濟

軍務局

艦政局

横須賀第六三號

大正七年三月二十七日

横須賀鎮守府司令長官代理

海軍中將 田中盛

海軍大臣 加藤友三郎 殿

第二課小段

廢船ノ件

横須賀海軍港務部保管左記雜紋船

般ニ老朽腐蝕甚敷修理再用ノ價

値付廢船ノ數候

右報告ス

第五編 橋丸搭載二十三呎三寸カソタリ

終

原簿

0778

手帳

供覽

軍務局

艦政局

佐鎮第一〇號 一五五

大正七年四月六日

佐世保鎮守府司令長官代理

海軍中將岡田啓介

海軍大臣加藤友三郎殿

第一課

廢船ノ件

左世保海軍港務部所屬云祥第三九八號運貝船  
船体老朽甚多修理ヲ加フルノ價値ナキニ付廢船ト

右報 第二課 第四課 第五課



官印

4.12

12

海軍

0779



軍務局

艦政局

舞鶴第一八一號ノ六

大正七年五月十八日

舞鶴鎮守府司令長官 財部

彪

海軍大臣加藤友三郎殿

第二課小牧

廢船處分ノ件

舞鶴海軍港務部ヨリ還納ノ公稱第九三三號泥受  
船ハ將來使用ノ見込ナク且修理ヲ加フルノ價値ナ  
キモノト認メ候條雜役船及除籍艦船取扱規則  
第六條ニ依リ廢船處分致候

右報告ス

第五課

第四課

第三課



供

原簿濟

岡村

0780



經理局

艦政局

軍務局

乙丑年八月進達

第五課 第二課長 勝	第二課 第一課長	第二課 第一課長	大正七年六月廿七日 沈没被破船(量採着の)	船名 桂	数量 一	予定價格 賣代價	買受人住所 大阪市東区上落	氏名 田中太介
			大正七年六月廿七日 沈没被破船(量採着の)	船名 桂	数量 一	予定價格 賣代價	買受人住所 大阪市東区上落	氏名 田中太介
			大正七年六月廿七日 沈没被破船(量採着の)	船名 桂	数量 一	予定價格 賣代價	買受人住所 大阪市東区上落	氏名 田中太介
			大正七年六月廿七日 沈没被破船(量採着の)	船名 桂	数量 一	予定價格 賣代價	買受人住所 大阪市東区上落	氏名 田中太介

廢船舟賣却處分濟報告

海軍大臣 加藤友三郎 殿

大正七年六月廿七日 横須賀海軍工廠長 田中盛彦

經理部長

參謀長

副官

泉

大正七年六月廿七日

7.6.29

0781

岡村

高野

新井

起案郵紙

大正七年

八月十五日

起案者  
捺印

八月廿三日

發付掛  
捺印

發付後起  
案者捺印

(或)

郵政局長

(印)

第二課長

(印)

(印)

大臣

副官

(印)

第一課長

(印)

次官

(印)

參事官

(印)

(印)

局部

受月日 發月日

官房

八月廿三日

軍務

官房受

人事

醫務

經理

司法

艦政

ハノ電

技本

造兵

教育

臨建

水路

軍令

(印)

第四部

(印)

第二部

(印)

第一部

(印)

第一課長

(印)

第二課長

(印)

局員

(印)

大正七年 第八號 第二三〇

海軍大臣

軍務 富士

八月十日 連署 兵部第四号、九七八三上申 軍務 富士

(印)

號番

官房第三九號

8.26

0782

8.29.2

郵政局長 第一課

8.16



藤原

0783

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp/>

艦政局

軍務局

參謀長

參謀

副官

事務

庶務

衛生

禮儀

典章

政務

吳工第四號九七八八

大

八月十日進

八日

吳海軍工廠長小柴孝

皇領官

海軍工廠

第二課 海軍大臣加藤友三郎殿

軍艦富士水雷防禦網處理ニ關スル件

本年六月官房機密第九六六號ヲ以テ本件要領發布有之候處本艦ハ運用  
術練習艦トシテ教育實施上現在ノ裝備存置ヲ必要ト認メ候條本艦水雷  
防禦網現在ノ裝備ヲ其儘存置方御認許相成度  
右上申ス

別紙富士艦長ヨリノ請求書一通添付

官房第九六六號

「終」

海軍

0784 船. 389.

7.8.13

富士教第二六〇號

大正七年七月十日於函館

運用術練習艦富士艦長

吳海軍工廠長殿

水雷防禦網處理ニ關スル件

本年六月官房機密第九六六號ヲ以テ本件要領發布有之候處當艦防禦網ニ關シテハ大正二年十一月吳工第函號ノ一一一〇ノ三ヲ以テ上申同年十二月官房第三三四號ノ二ニ依リ認許ニ基キ運用術練習艦トシテ教務上之カ裝備ヲ要スル範圍ニ於テ處理セルモノニシテ現在及將來ニ於テモ教育實施上現在ノ裝備存置ヲ要スル次第ニ有之候條可然御配慮相成

右請求ス

追而教育本部軍務局及艦政局トハ打合濟ニ付爲念申添候

吳工第四號ノ九七八

吳工檢富士第一七號

海軍

0785

軍務局

艦政局

九月二十五日

舞鶴一三〇一九〇四

大正七年九月二十五日

舞鶴海軍工廠長南里團

海軍大臣加藤友三郎殿

第五四號 廢船處分ノ件

別紙調書記載ノ廢船處分濟付雜船

及除籍艦艇取扱規則第七條ニ依リ

右報告ス

別紙調書一葉添

第二課小坂

果

終

原簿添

司令長官

參謀長

副官

舞鶴海軍工廠長

7.10.2

官房

30

0786

岡村

1917 9.30 18



452 5...

九月六日進達

大正七年九月二日  
第二課長  
海軍工廠長代理

海軍大臣加藤友三郎殿

海軍少將 淺野 正

廢船舟賣却處分ノ件

艦政局  
軍務局  
經理局

公稱番號	第一	第二	第三	第四	第五
品名	第一	第二	第三	第四	第五
數量	壹	壹	壹	壹	壹
豫定價格	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇
賣却代價	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇
賣却年月日	七年八月六日	全	全	全	全
買受人住所職業氏名	八幡市海岸通一六五七番地 商業 奧廣 丈助	全	全	全	全

右ハ將來使用ノ見込ナク且ツ造船造兵材料トシテ不適當ノモノニ付賣却  
右報告ス

(終)

0788

7.9.16

海軍

0789

艦政局

經理局

軍務局

計

佐廠第 三ノ三〇二 經理部

大正七年十一月五日

佐世保海軍工廠長木村

佐世保海軍工廠長印

第一課  
第二課  
第三課  
第四課  
第五課  
佐世保海軍工廠長印

船名	数量	代價	代賣	代却	買受人	年月日	運送
通勝	1	50000	54900	10000	佐世保海軍工廠	大正七年十一月	運送
公船第 九	1	33000	35000	20000	佐世保海軍工廠	大正七年十一月	運送
公船第 三九七	1	40000	40000	0	佐世保海軍工廠	大正七年十一月	運送
公船第 九八	1	10000	10000	0	佐世保海軍工廠	大正七年十一月	運送
公船第 二八	1	10000	10000	0	佐世保海軍工廠	大正七年十一月	運送
公船第 二六	1	90000	100000	10000	佐世保海軍工廠	大正七年十一月	運送
計		650000	683000	300000			

7.1118 五編

政艦 7.11.16 四編

7.11.17 計

7.11.21

石  
報  
告  
ス

海

軍

(終)

0790





(乙)

頼ノ趣支障無之候

右回答ス

追テ右起重器船使用、聞シテハ直接鎮海  
要港部ト交渉相成様致度申添候

官房第 三五 號

大正七年十月二十二日 次官

鎮海要港部 司官 記  
起重器船ニ關スル件

本件ニ關シ別紙甲號ノ通函朝鮮總督府政務總長  
依頼、對シ人ニテ號ノ通回答致置候條御了知、  
上可然御取計相成度

右申進ス

(別紙ニ準據)

及田納

海軍

0792

軍務局長



第二課長

ハ文

局員



海

軍

鎮海要港部参謀長寺岡平

大正七年九月三十日

鎮海要港部参謀長寺岡平

海軍省軍務局長井出謙治殿

起重機船・圍之ル件

軍第三七四号御照會、本件當部、於テハ支障

無之

右回答ス

(終)



大正七年九月三十日



0793

三二四七

三二四

下

艦政局長  
經理局長

軍務局長

第三課長  
第五課長

第三課長

第二課長

大正七年九月五日  
月五日 發行済

局員

軍務局長

起重器船ニ關スル件  
鎮要參謀長宛

本件ニ關シ別紙ノ通朝鮮總督府政  
務總監ヨリ依頼有之候處貴部ノ都  
合承知致度

右照會ス

(別紙一葉添)

終

(捺原納)

雜船

07947.10.3

件

雜船

海 7.9.30 受接

軍 7.9.28 受接

雜船

軍務局

(甲)

拓殖局

鐵監等 七二九號

大正七年九月廿日

朝鮮總督府政務總監山縣伊三



海軍次官枋内曾次郎殿

第二課 小收

浮動起重機借入ノ件

米國ヨリ購入セル機關車拾貳輛大正  
七年十二月下旬釜山到着ノ豫定ニ

有之候處之カ揚陸ニ付鎮海要港部

七二九號

7. 9. 27 官用受領

軍務局接受  
以青カ首

0795

月日

御備付ノ五拾噸揚浮動起重機左記  
條件ニ依リ借用致度此段及御依頼  
候也

一浮動起重機釜山迄ノ往復運搬ハ當方

ニ於テ行フコト

ニ使用人及監督者ハ要港部ヨリ派遣

セラレタキコト

ニ使用人及監督者ノ旅費日當ハ當

方ニテ支拂フコト

0796

大正七年十月十四日起案

起案者 小出

十月廿二日發付

發付掛 捺印

發付後起 案者捺印

(主務)軍務局長

井出 第二課長小牧

大臣

副官

次官

參事官

艦政局長

經理局長

林

高

局員

中

中

中

中

中

中

中

中

第二課長  
第三課長  
第四課長  
第五課長

第三課長

中

中

中

中

中

中

中

中

局部	受月日	發月日
官房	十月廿二日	
軍務		
人事		
艦政		
機關		
醫務		
經理		
法務		
技本		
造兵		
教育		
臨建		
水路		
軍令		

大正七年十月二十二日  
大臣  
橫鎮第一八四號公稱第六號曳船兼交  
通船廢船處分一件認許ス

(終)

號番

官房第三五八號

海

軍

0797 (件)

中

中

中

中

10.15





經理局

軍務局

艦政司

横領第一八一四號

大正七年十月十一日

第二課 横須賀鎮守府司令長官 名 和 又 八 郎

第五課 海軍大臣 加 藤 友 三 郎 殿

第四課

汽艇廢船處分ノ件

横須賀海軍港務部保管左記汽艇ハ別紙検査報告寫ノ通り船體部全體ニ  
亘リ損甚シク且機械罐共一般ニ衰朽腐蝕シ修理再用ノ價値ナキ程度  
ニアルヲ以テ此ノ際廢船處分致度候條御認許相成度

右 上 申 ス 第二課

公稱第六號 曳船兼交通船

(別紙登業添付)

(了)

海 軍

政艦 7.10.12 安

官房受 十月十日

軍務局接

艦政課 1014

2

0799

月日 起案移

二三四五

大正七年十月五日

横須賀海軍工廠長 田中盛秀

横須賀鎮守府司令長官 名和又二郎殿

還納船艇検査報告

元海軍砲術学校所属の森第2号及松葉交通船(横須賀第2号交)

松穀 破損甚クシク修理ノ價値ナシ

儀装及 右同 断

機 械 一取ニ衰朽シ長時ガ使用セラルニ依リ發錆セリ滑動部 磨耗甚シ

罐 焚口ニ因テ亀裂アリ燃室下部兩側管其他一取ノ腐蝕

セリ

現狀摘要

0800

意

船体部 本艇ハ「キール」・「アレーム」等ノ機材ヲ外

板ハ檣材ヲ以テ製造シタルニシテ全体ニ涉リ破損

甚クシク再用ノ價值ナキニシテ認ムル船底銅

板ニ而枚貼付シテ責却價格金毫千円

機械部 開放ノ上平ノ修理ヲ行ハ「當分」使用ノ

見込アリ 修理費五百円但シ機械ハ此儘

見

罐部 殆ント全部換装スニ非セバ使用不可能ナリ

廢却スルヲ適當ト認ム

右還納船艇検査並ニ廢船手續第二項ニ依リ報告ス

(終)

0801

起案郵紙

大正七年十月三十一日起案

起案者 捺印

向田

十月三十一日發付

發付掛 捺印

發付後起 捺印

案者捺印

向田

(主務)軍務局長

第二課長

局長

大臣

副官

局長

局長

局長

次官

參事官

局長

艦政局長

代

局長

經理局長

局長

第三課長  
第二課長  
第五課長

第二課長

大正七年十月三十日大

臣

佐鎮第一四號、三七公稱第一二號機働艇廢  
船處分一件認許ス

號番

官房第三六二號

每

車

局部	官房	軍務	人事	艦政	機關	醫務	經理	法務	技本	造兵	教育	臨建	水路	軍令
受月日	十月廿九日													
發月日	十月廿九日													

經理局換受

0802

件

7.10.29

艦政-課  
10.22



艦政局

軍務局

主務

佐世鎮第一四號ノ三七

大正七年十月十四日

佐世保鎮守府司令長官男爵八代六郎

海軍大臣 加藤友三郎殿

第三課

第五課 機働艇廢船處分ノ件

今般當工廠ヨリ還納セル公称第一二號機働艇ハ  
別紙検査報告ノ通老朽甚シク修理ヲ加フルノ  
價値ナキモノト認メ候ニ付廢船處分致度候條  
御認詳相成度  
右上申ス

第二課

別紙一葉添

7.10.18

官印

軍務局接受

月日 案終

467

0804

海軍

終

公稱第一三號機傷検査報告(大正七年十月 日 朔)

佐世保海軍工廠長代理

海軍少將 河田勝治

見所	現狀摘要			
	船殼	機装及 機装品	機 械	補 機
當ト認ム	老朽修理ノ價值ナキモノト認ム	全 右	小修理ヲ加フルハ當分ノ使用ニ堪エルモノト認ム	全 右
本船ハ廢船トシ 機材ハ造船材料ニ編入スルヲ至				

海軍

0805

7/17



軍務局

艦政局

横領第二一三六號

大正七年十二月十日

横領賀領守府司令長官代理

海軍中將山中柴

海軍大臣加藤友三郎殿

第二課

雑役船廢船ノ件

横領賀海軍港務部保管左記雑役船ハ船体何レモ腐蝕甚シク修理再用ノ價値ナキニ付廢船ト致候

右報告ス

第二課

公稱第二〇一一號 傳馬船

第四課

同 第二〇一三號 傳馬船

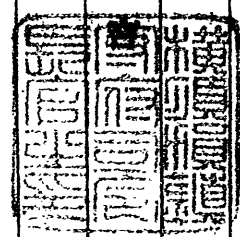
第五課

第二〇一四號 傳馬船

海軍

軍務局接受

7. 青方印



0806





供覽



発行

軍務局

艦政局

横領第二一七七號ノ二	大正七年十二月十九日	横須賀鎮守府司令長官代理	海軍中將 山中 柴	海軍大臣 加藤 友三郎 殿	第二課 收	廢船ノ件	横須賀海軍港務部保管左記雜役船ハ船体一般ニ腐蝕衰朽甚シク修理	再用ノ價額ヲキニ付廢船ト致候	右報告	公稱第七三四號 傳馬 船	海軍
------------	------------	--------------	-----------	---------------	-------	------	--------------------------------	----------------	-----	--------------	----

0808